

# 北条地区景観まちづくり 第4回勉強会の便り

平成27年8月3日(月)に、北条地区の景観に関する「第4回景観まちづくり勉強会」を開催致しました。第4回は、「景観まちづくりアイデア集(仮称)を確認しよう!」をテーマとして、皆様からのアイデアをとりまとめた冊子を提示し、その内容について、参加者の皆様から多くのご意見を頂きました。

## 【開催概要】

日時:平成27年8月3日(月) 19:00~21:00  
 場所:松山市北条コミュニティセンター 3階会議室  
 参加者:各種団体(計11名)

## 勉強会のプログラム

タイムテーブル	プログラム
19:00~19:03(3分)	・開会のあいさつ ・職員・スタッフ・先生の紹介
19:03~19:30(27分)	・第3回勉強会の結果概要の報告 ・景観まちづくりアイデア集(仮称)の概要説明
19:30~20:00(30分)	全体意見交換【スクール形式】 『景観まちづくりアイデア集(仮称)を確認しよう!』 ・第3回で話し合った景観まちづくりの具体的なアイデアの内容や場所・時期等について確認し、仕上げます。
20:00~20:05(5分)	全体意見交換【スクール形式】 『景観まちづくりの実現に向けて最初にできることを話し合おう!』 ・景観まちづくりの取組みの進め方について
20:05~20:35(30分)	・景観まちづくりの次のステップに向けて、各アイデアを実現するために、まずどのようなことから取り掛かっていけばよいか、話し合います。
20:35~20:40(10分)	・総評
20:40~20:45(5分)	・松山市景観計画の改定について
20:45~20:48(3分)	・今後の予定、閉会のあいさつ

## 勉強会の様子



意見交換の様子



松山市による説明の様子

松山市都市整備部都市デザイン課

〒790-8571 松山市二番町4丁目7-2 Tel. 089(948)6848 Fax. 089(934)1807



【ご確認いただいた『景観まちづくりアイデア集(素案)』の冊子】

ご意見を  
頂きました!

## 景観まちづくりアイデア集(仮称)に関する意見【概要】

該当項目	主な修正意見等
景観まちづくり区域について	・鹿島からの眺望や鹿島の方向を見るための眺望点として考えるのであれば、海岸線のエリアであるC地区も対象区域に入れるべき。
具体的な取組みについて	・目標の言葉はインパクトのある言葉にしてほしい。 ・自動車で地域に来られる方が多いため、地域への入り口部となる交差点などに、道路標識で誘導することが必要 ・街灯は駅前通りだけでなく、海岸線にも統一的に整備していく必要がある ・道の駅風和里などと連携して、広く回遊性させるように仕掛けていくことが必要 ・鹿島の土産物がないため、日持ちする商品を開発することが必要 ・学生を活用して、地域と連携したまちづくりを進めていくことが必要 等

ご意見を  
頂きました!

## 今後の進め方に関するご意見【概要】

主なご意見
・5W1Hといわれる、誰がいつ、どこで何に取り組みればよいかなどを具体的に決めることが重要 ・学生などの若者を大いにまちづくりに参画させていくことが重要 ・各区長が勉強会に参加して、区長から地域住民に発信するなど、地域の協力体制をつくるのが重要 ・支所や社会福祉協議会などの協力を得ることも景観まちづくりには重要 等

## 【今後の予定】

今回の勉強会にて、予定していましたが勉強会はすべて終了致しました。今後は、今回頂いたご意見をもとに、景観まちづくりアイデア集(素案)を修正し、まちづくり協議会の方々にご確認頂き、「景観まちづくりアイデア集」として、地区の住民の方々に広く周知していく予定です。今後とも、北条地区の景観の保全・向上の対策を考えていきます。



# ■景観まちづくりアイデア集(仮称)を確認しよう！

## 北条地区

### 目標に関するご指摘

- 舞台にという表現ではなく、「中心に」くらいの表現がよい
- インパクトがある目標となるよう、言葉を見直してほしい

### 学生を活用したまちづくりの展開

- 大学の学生を使用して、地域と連携していくことが重要
- 学生が利用しやすいお店などをアンケート等により調査し、若い人が集まりやすいまちづくりの参考としてはどうか
- 特急電車を伊予北条駅にとめるよう、働きかけていくことが、来訪者増加のために必要ではないか  
⇒そのために、学生のニーズも合わせてアンケートで確認してはどうか

### 鹿島の土産づくり

- 【土産物の開発検討・販売先の検討などについて】
- 鹿島に来た証となるものがない  
⇒お土産がない。お土産は来訪者にとって地域を訪れた際の重要な要素 独自に企画開発していくことが必要ではないか
  - 鹿島まんじゅうというお菓子はあがるが、日持ちするものでないといけない（※名物である鯛めしは、一応、長期保存できる）
  - 土産は、北条地区の物でなければならないが、商売として成り立つものがあるのか検討を重ねる必要がある
  - また、土産物を販売する場所の問題も考えなくてはならない

### 具体的なアイデアについて

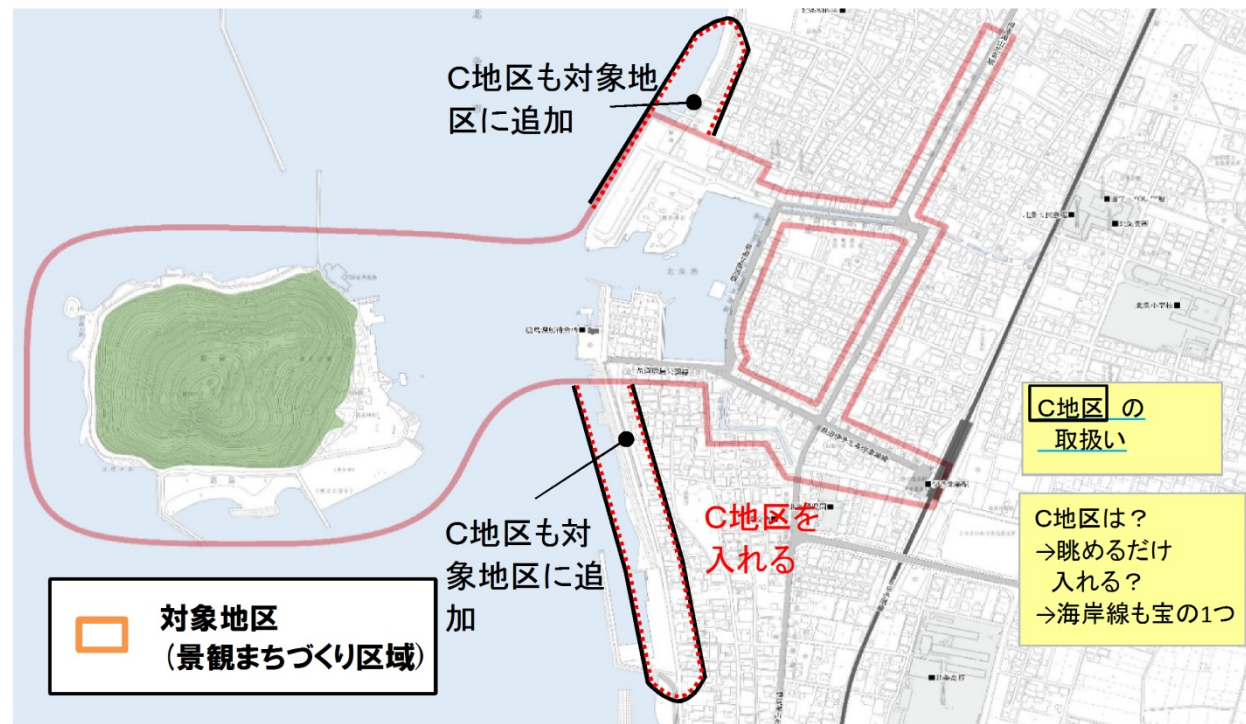
- 駅前通りだけではなく、両海岸線に街灯整備をお願いしていきたい
- 鹿島では、周遊道路の整備実現と、山崩れ防止対策の推進してほしい。また、健康施設(遊具)などに関する設備を充実してほしい。
- 明星川周辺について、みこしを投げ入れる箇所周辺は、プランターを設置しないように留意すべき
- 北条地区には、自動車で来訪する方が多いため、マルナカや北条バイパスの地区への入り口となる分岐点に、わかりやすい道路標識により案内サインを設置すべき
- 昼間、JRの特急電車が伊予北条駅に止まらないため、止まるように要望していきたい。
- 北条は、次回の国体会場になるとの話が、市にきている（期間限定か定期か）

- 道の駅風和里と連携し、船の回遊・周遊を高めるようにしたらよい(P11)



- P11の実施計画について短期・中期・長期とあるが、どのくらいの期間を想定しているのか？  
⇒地元住民の取組み次第で捉えていただければと考えています(事務局回答)
- また、実施期間の項目は具体的に書いてほしい。

### 景観まちづくり区域の範囲に関するご指摘



### ★今後の進め方について

#### 5W1Hを明確にすることが重要

#### 郡司島先生より ~今後に向けたご助言~

- ★いつ、誰が、どこで、何にどうやって取り組んでいけばよいかを決めていくことが重要
- いつ
  - ・タイミングを考える(既存のイベントと一緒に取り組む、新たにイベントをおこなす等)
- 誰が (自分のこととして考えてもらう工夫をする)
  - ・誰と一緒に取り組むのか
  - ・誰に対して取り組むのか
  - ・誰に来てもらいたいのか等を決めていく(大学生なのか、風和里に来ている人なのか、ターゲットを明確にすることが重要)
- どうやって
  - ・美しいデザインのありかたをどうしていくかを決める
- その他、地域の外に向けたアピールをしていくことが重要

#### 地域の協力が必須！

- 地域の方が協力し合うことが景観まちづくりに取り組んでいく上で必要なこと
- そのために、各区長がまずこのような勉強会に参加して、情報収集し、各区の住民に周知徹底するという仕組みが重要
- ※たとえば、プランターを軒先に並べる こと一つにしても、区長さんの協力がなければなかなか実現できることではないのではないか
- 景観まちづくりの実現に向けて取り組んでいくためには、できないことを書いては面白くない
- 景観まちづくりを普及するためには、支所や社会福祉協議会などの各種団体の協力が必要である